

# 学習指導案の形式（例） 小学校生活科

## 第○学年○組 生活科学習指導案

平成○年○月○日（○）第○校時 ○○教室 指導者 ○○ ○○

1 単元名 ○○○○○○○○

◇まとまりをもった教育内容の単位の名称を記述する。

2 単元の目標

- 「生活への関心・意欲・態度」に関する目標
- 「活動や体験についての思考・表現」に関する目標
- 「身近な環境や自分についての気付き」に関する目標

◇単元の目標は、学習指導要領で示された目標及び内容を踏まえ、児童の実態、教材の意味などを基に設定する。「生活への関心・意欲・態度」「活動や体験についての思考・表現」「身近な環境や自分についての気付き」の評価の3観点で具体化する。このようにしてできた目標は、実現状況を示す評価規準となる。

※総括目標として示す場合

「～する活動を通して、～に気付き（～が分かり）、～することができるようにする。」

◇児童の立場で書く。

（例：～しようとする。～などを表現することができる。  
～を工夫することができる。～に気付くことができる。）

3 単元の評価規準

	生活への関心・意欲・態度	活動や体験についての思考・表現	身近な環境や自分についての気付き
単元の評価規準	例：～しようとしている。	例：～を自分なりの方法で表現している。	例：～ができるようになった自分に気付いている。
学習活動（小単元）における評価規準	◇評価規準の設定に当たっては、『評価規準の作成、評価方法の工夫改善のための参考資料【小学校 生活科】』（平成23年11月 国立教育政策研究所）を参考に以下の方法で設定することが望ましい。		
	◇1内容で1単元を構成する場合は、「評価規準に盛り込むべき事項」を参考にして「単元の評価規準」を設定するとともに、「評価規準の設定例」を参考にしながら、学習対象や学習活動に応じて「学習活動（小単元）における評価規準」を設定する。		
	◇複数内容で1単元を構成する場合は、それぞれの内容に対応した「評価規準に盛り込むべき事項」及び「評価規準の設定例」を参考にしながら、学習対象や学習活動に応じて組み合わせたり、融合したりして「単元の評価規準」や「学習活動（小単元）における評価規準」を設定する。		
3	◇児童の立場で書く。		

4 指導と評価の計画（全○時間）

小単元名（時数）	時	主な学習活動	評価規準及び評価方法
1 ○○○○○○ ○○○○○ (○時間)	1 2	○主な活動 ・想定される児童の思いや見方や考え方	〔観点〕評価規準（評価方法）
2		◇単元レベルで具体的にした指導計画を立てることが望ましい。	◇学習対象や学習活動に応じて、小単元における評価規準を設定する。
3		◇児童の立場で書く。	◇学習活動や配当時間に応じて、重点的に評価する場面を想定し、必要な評価機会に位置付ける。 ◇児童の立場で書く。

5 指導上の立場

- 単元観
- 児童観
- 指導観
- 研究主題との関連

◇ 指導者の立場で書く。

◇ 単元観…………… 取り上げる単元の内容、既習事項との関連、今後の展開、その単元を取り上げる意義、単元・教材と児童の関係など。

◇ 児童観…………… 児童の興味・関心・意欲、単元に関する知識・技能、既習事項の定着度など、前単元までの実態や本単元で育てたい望ましい児童像。

◇ 指導観…………… 指導・支援の力点、学習形態、仮説、その他の配慮事項など、児童のよさや可能性を生かすような工夫や手だて。

◇ 研究主題との関連… 研究主題の説明を簡潔に記述し、研究主題と授業研究における指導仮説を明確にして書く。

6 本時案（第○次 第○時）

(1) 本時の目標

◇ 単元の指導計画に即して、本時の学習活動の目標を具体的に示す。  
 ◇ 単元の目標や評価規準との整合を図る。  
 ◇ 児童の立場で書く。

例：～することができる。

(2) 展開

学習活動	教師の指導・支援	学習評価
1 ◇ 児童の立場で書く。	○ ◇ 学習活動に対して主となる指導・支援を書く。 ◇ 指導者の立場で書く。 めあて	◇ 児童の立場で書く。
2 ◇ 学習過程に沿って児童の活動を具体的に記す。 ◇ 岡山型学習指導のスタンダードの単元時間の授業5（ファイブ）を参考にする。	○ 例：～することで、～できるようにする。 ○ ◇ 指導過程に沿って、教師の指導上の配慮事項などを記す。 ・ 指導の意図、重点方法、工夫など ・ 指導と評価の一体化を図る手だて ・ 児童一人一人の学習への手だて など ○ ◇ 「努力を要する」状況（C）と判断される場合における児童への手だての例を示す。 ○ ◇ 「十分満足できる」状況（A）となるようにするための児童への手だての例を示す。	◇ 本時の目標や単元の評価規準と対応させる。 [評価の場面は1、2か所] ◇ 評価規準を具体的に記す。 ◇ 評価の観点や方法を記す。 ◇ 評価方法 ・ 行動の様子 ・ 発言の内容 ・ ワークシートの記述 ・ 学習カードの記述 など
3	○	
4	○ まとめ ○ ◇ 本時に何を学んだのかが分かるように整理し、めあてと対応したまとめの文章表現の例を示す。 ○ ◇ まとめは、本時の目標や学習内容に応じて柔軟に位置付ける。	○ 例：～に気付いている。 [気付き] (行動の様子、ワークシートの記述)
5	○	

◎ 「おおむね満足できる」状況（B）と判断する児童の姿の例

◇ 本時の評価規準に照らして、本時でねらう児童の姿を具体的に書く。